

マタイ 49

救いはただ 主の恵み

マタイ福音書19:16～30

金持ちの青年・後の者が先に

Shikaoichurch.com

日々、恵みを味わってますか？

喜びと感謝がありますか？

救いは、ただ主の恵みである

① 悲しむべきは己の罪 16～22

② 人は人を救えない 23～26

③ 何もない者が恵みを得る
27～30



エルサレムに向かうメシア

- ガリラヤを離れ、エルサレムのあるローマの直轄領へ足を踏み入れたイエス。
- ガリラヤから追いつがる者がおり、エルサレム方面から来て、待ち構えていた者たちもいた。





① 悲しむべきは己の罪

マタイ福音書19:16～22

ヨルダン川西岸

本編 永遠のいのち マタイ19:16

すると見よ、一人の人*がイエスに近づいて来て言った。「先生。永遠のいのち*を得るためには、どんな良いことをすればよいのでしょうか。」

*「ある指導者(ルカ18:18)」

*「ひざまずいて尋ねた(マルコ10:17)」

*マタイでは、初出

■ 自分は良いことを行ってきた、という
強烈な自負心がのぞく。 ➡ 信仰アピール!!



ヨルダン川西岸

旧約聖書に記された「永遠のいのち」

■大艱難時代に救われる者 ダニエル書12:1~2

その時、あなたの国の人々を守る大いなる君ミカエルが立ち上がる。国が始まって以来その時まで、かつてなかったほどの苦難の時が来る。しかしその時、あなたの民で、あの書に記されている者はみな救われる。

ちりの大地の中に眠っている者のうち、多くの者が目を覚ます。ある者は**永遠のいのち**に、ある者は恥辱と、永遠の嫌悪に。

世の終わりの行き先は、二つに一つ!!

本編 守るべき戒め マタイ19:17

イエスは彼に言われた。「なぜ、良いことについて、わたしに尋ねるのですか。良い方はおひとりです。いのちに入りたいたいと思うなら**戒め***を守りなさい。」

- 良い方(神)の定めた**戒め(律法)**を守る。
 - ➔ イスラエルなら当然のこと
- 青年の自負心を軽くいなす主イエス。
 - ➔ 淡々と戒めを守ればいいだけ!!



ヨルダン川西岸

本編 二つの戒め マタイ19:18~19

彼は「どの戒めですか」と言った。そこでイエスは答えられた。「殺してはならない。姦淫してはならない。盗んではならない。偽りの証言をしてはならない。父と母を敬え*。あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」

*十戒の後半の倫理規定(出20:12~17)

*レビ19:18

■特別な戒めを望んだ青年に対し、
イエスが答えたのは、十戒。基本中の基本。

人との関係性の
箇所ばかり!!

ヨルダン川西岸



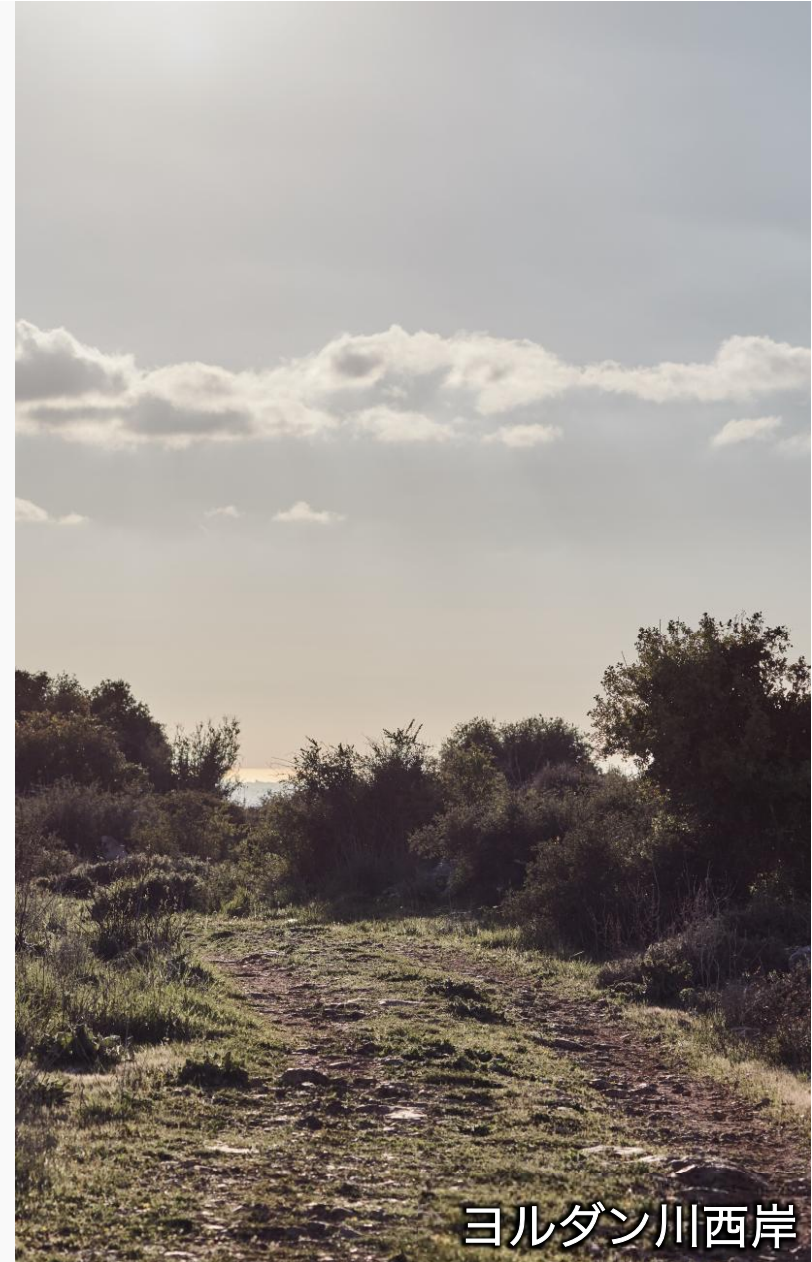
本編 青年の自負 マタイ19:20

この青年*はイエスに言った。「私はそれらすべてを守ってきました*。何がまだ欠けているのでしょうか*。」

*30歳前?! …レビ人の奉仕は30歳から。
指導者として準ずるなら。

*律法を完全に守っているという自負
一見、謙遜なようで、非常に傲慢
➡ラビ訓練を受けていた?!

*自分にふさわしい課題を与えてくれ!!



ヨルダン川西岸

本編 欠けていたもの マタイ19:21

イエスは彼に言われた。「**完全になりたいのなら***、帰って、あなたの財産を売り払って貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つことになります。そのうえで、わたしに従って来なさい。」

***青年に欠けていた点を鋭く指摘**

■ 律法を深く学び、守っていた青年。

➔ 財産があったから可能だったこと

➔ 財産への執着も人一倍だった



ヨルダン川西岸

本編 立ち去った青年 マタイ19:22

青年はこのことばを聞くと、悲しみながら*立ち去った。多くの財産を持っていたからである。

*納得できない条件を悲しんだ。自己憐憫。

➔悲しむべきは、手放せない自分の罪

■青年は、主に仕えることよりも、永遠のいのちを得ることよりも、自分の財産が大切だった。

➔目の前のメシアに従えなかった

①悲しむべきは
己の罪



ヨルダン川西岸

①悲しむべきは己の罪

- 難しい課題を求め、信仰アピールに来た金持ちの青年。
- 逆に指摘されたのは、彼の傲慢。人との関係性の欠如。
- 突きつけられた根本的な罪は、富への強すぎる執着。神と人のために、本当に犠牲を払う意志はなかった。彼が悲しんだのは、大切な自分の富を失うこと。

悲しむべきは、執着を手放せない、自分自身の罪



②人は人を救えない

マタイ福音書19:23～26

ヨルダン川西岸

本編 財産という妨げ マタイ19:23～24

そこで、イエスは弟子たちに言われた。

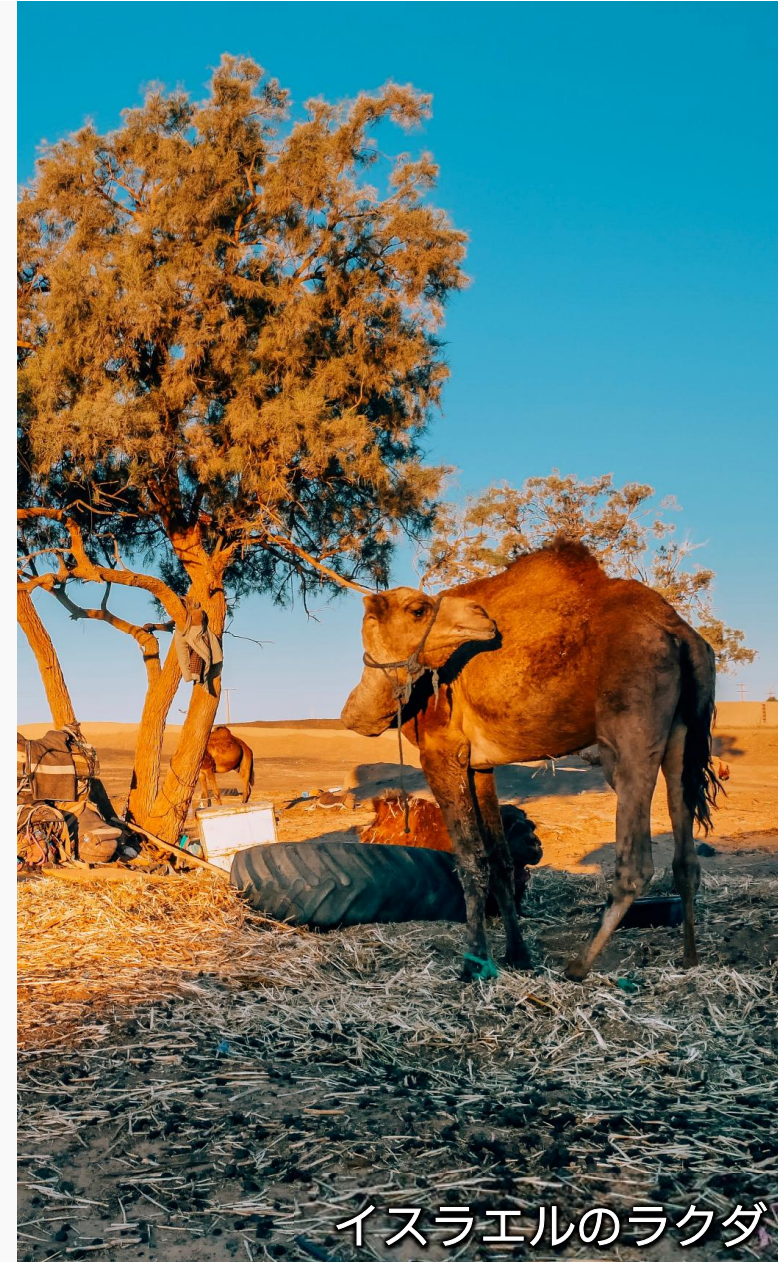
「まことに、あなたがたに言います。金持ちが天の御国に入るのは難しい*ことです。

もう一度あなたがたに言います。金持ちが神の国に入るよりは、らくだ*が針の穴を通るほうが易しい*のです。」

*青年のように、財産が大きな妨げに。

*イスラエルで日常目にする最大の動物

■ 財産が、神以上の偶像になっている!!



イスラエルのラクダ

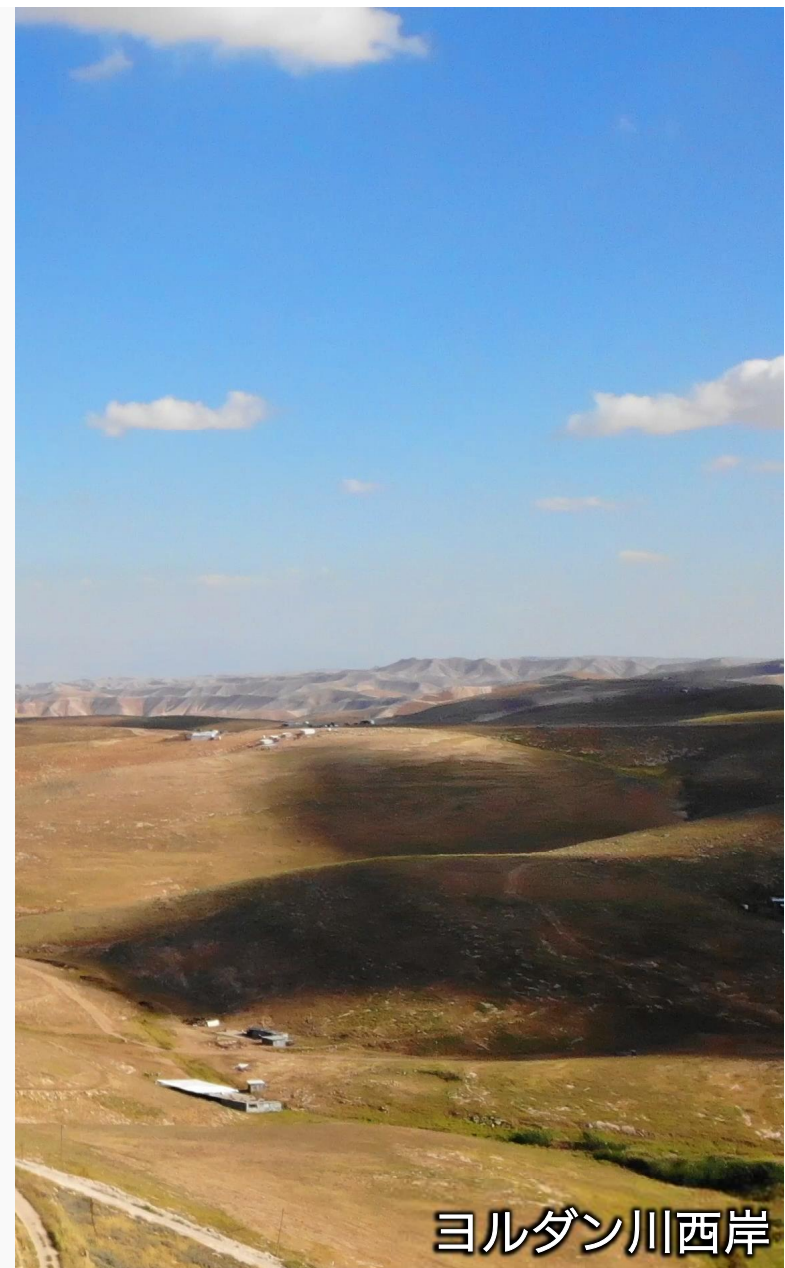
本編 誰が救われるか マタイ19:25～26

弟子たちはこれを聞くと、たいへん驚いて言った。「それでは、だれが救われることができるでしょう。」

イエスは彼らをじっと見つめて言われた。「それは人にはできないことですが、神にはどんなことでもできます。」

*財産は、神の祝福のしるし、
信仰の証明とされていた。

②人は人を救えない



ヨルダン川西岸

②人は人を救えない

- 富は、神の祝福、信仰の現れとされていた。
経済力がないと学びもできない。ラビ教育は、その極み。
(※ペテロたちも、多大な経済的負担を)
- 律法(+口伝律法)を守るにも、経済力がものを言った。
- 「金持ちですら救われないなら、一体誰が救われる？」

救いは、神の一方的な恵みの御業!!



③何もない者が恵みを得る

マタイ福音書19:27～30

サマリア

本編 ペテロの願望 マタイ19:27

そのとき、ペテロはイエスに言った。
「ご覧ください。私たちはすべてを捨てて、あなたに従って来ました*。それで、私たちは何をいただけるのでしょうか。」

*フルタイムの弟子として、3年余り、
イエスに付き従ってきた弟子の自負。

■イエスが王となったとき、
自分たち使徒に与えられる報いは？

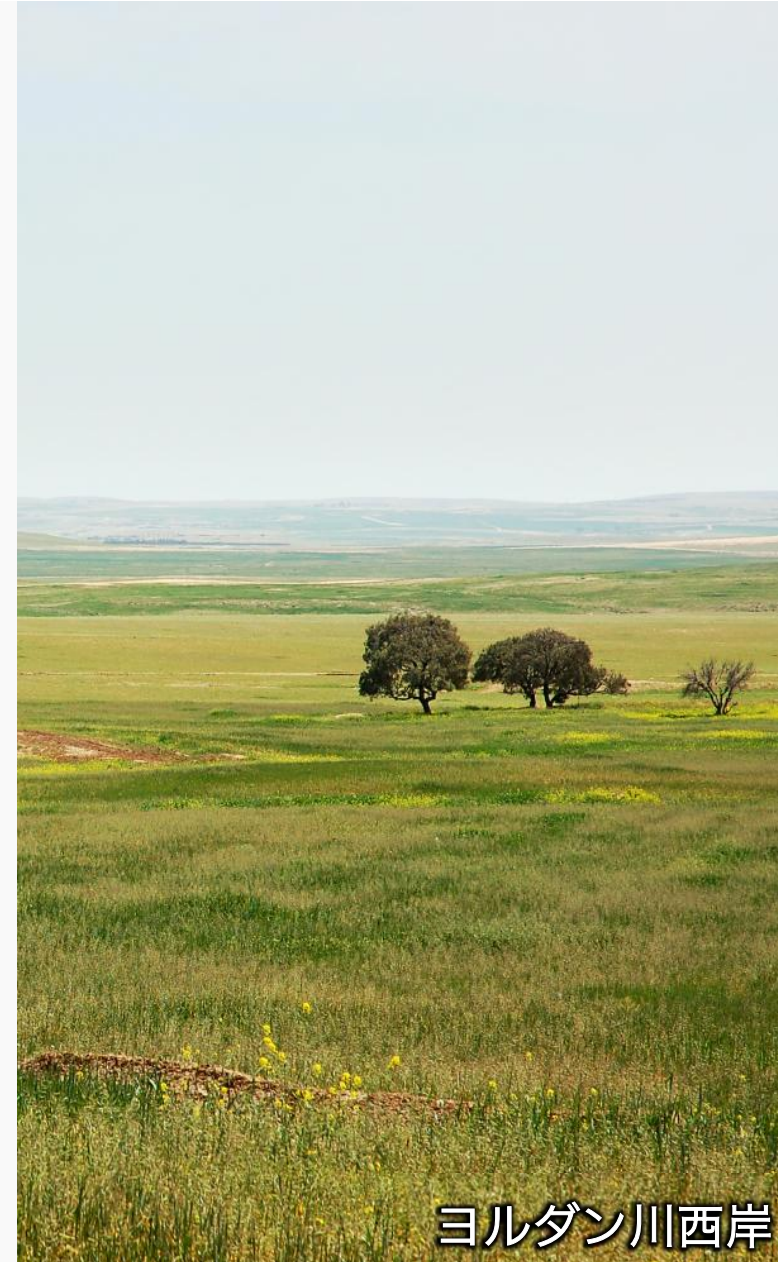


ヨルダン川西岸

本編 御国での報い マタイ19:28

そこでイエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。人の子がその栄光の座に着くとき、その新しい世界で、わたしに従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族を治めます。

■ 神の国で、十二使徒が、イスラエルの十二部族を治める。



ヨルダン川西岸

本編 後の者が先に マタイ19:29～30

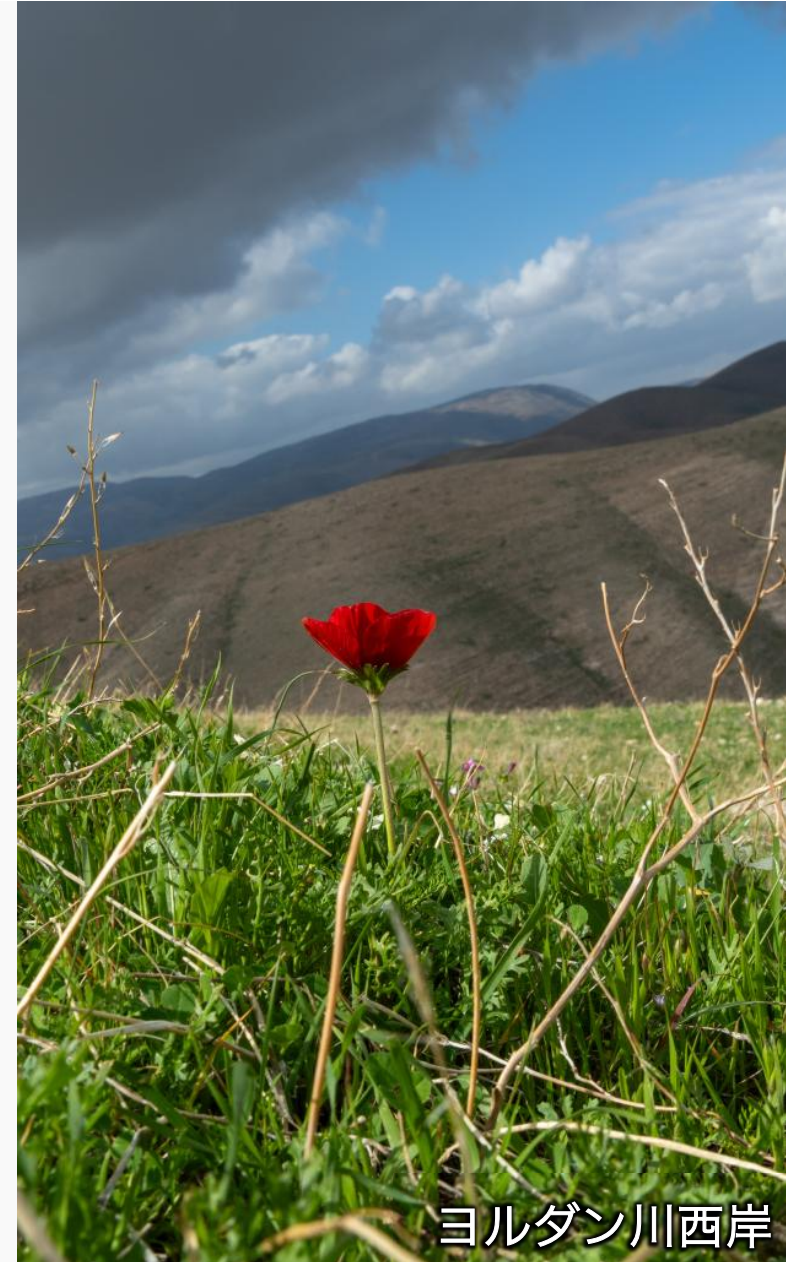
また、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、畑を捨てた者はみな、その百倍を受け、また永遠のいのちを受け継ぎます。

しかし、先にいる多くの者*が後になり、後にいる多くの者*が先になります。

*金持ちの青年のような形ばかりの信仰者

*世では侮られていた、真実の信仰者

③無資格者が恵みを得る




ヨルダン川西岸

③無資格者が恵みを得る

- “すべてを捨てて主に従ってきた” 十二使徒は、来るべき神の国で、イスラエル12部族の長となる。
- 犠牲を払い、第一に主に仕えた者は、神の国で比べものにならない恵みを受ける。
- 心を見る主の評価は、世の評価とは逆転する。

資格のない者が、信仰と恵みによって救いを得る



まとめと適用

ただ主の恵みを求めよう

ヨルダン川西岸

救いは、ただ主の恵みである

① 悲しむべきは己の罪

…自分が手放しがたいものは？
罪を嘆くのが信仰の始まり。

② 人は人を救えない

…肩書きも地位も評判も、
救いとは全く関係ない。

③ 何もない者が恵みを得る …資格のない者が、信仰と恵み
によって救われる。

恵みを恵みとしているか？ 私たちの実態は？

- ①悲しむべきは己の罪** …活動、知識、実績を誇ってはいないか？
- ②人は人を救えない** …自分に託された使命と、主に委ねることを混同してない？
- ③何もない者が恵みを得る** …世で何者かになろうとしてはいないか？

例) リベラルクリスチャンを反面教師に

① 悲しんでいるのは、社会の罪、他者の罪

例) 基地と軍隊が、人々を苦しめている

② 社会を変え、人々を救うのが、自分たちの責務

例) 自分たちが義。法を犯すことも正当化。

③ 報いを得るのは、義と定める活動に尽力した者

例) 自分と他者に犠牲を強いる。軽んじられる命。

行いによる救いがもたらす悲劇

★ 恵みの主イエス・キリストを仰ぎ見よう ★

- 世の富、力、評価が、どれだけ信仰者を歪めるか。
例) 信仰の勇者ダビデは？ 知恵者ソロモンは？
- 預言者も使徒も、世で評価された人などいなかった。
世で小さな者とされていることを幸いとしよう。
辺境の地にいることも。少数者であることも。
- 私たちが仰ぎ見るべきは、主イエス・キリスト。
十字架の受難を経て、死に勝利し、復活された。

てん とう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたし しんこう しゅ いっぽうてき すく
私たちは、ただ信仰と、主の一方的な恵みによって救われました。

よ ちい もの わたし さいわ
世にあって、小さな者であることは、私たちの幸いです。

とも しゅ しんらい ふくいん かか つか
共におられる主だけを信頼して、福音を掲げ、遣わされます。

かんしゃ しゅ な いの
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」